

2026年3月3日
株式会社小田急箱根

箱根湯本駅～強羅駅間の安全性向上を目的とした車両装置の導入について 2026年3月より順次導入開始

株式会社小田急箱根（本社：神奈川県小田原市、社長：水上 秀博）は、箱根湯本駅～強羅駅間の旅客列車の安全性および安心感のさらなる向上を目的として、2026年3月より車両への安全関連装置の導入を順次開始いたします。

本取り組みは、車内外の状況把握強化、非常時の連絡性向上、乗降時の視認性向上、転落防止、誤開扉防止など、多面的に安全性を高めるためのものです。

記

1. 実施日 2026年3月より順次
2. 対象区間 箱根湯本～強羅間（8.9km）
3. 対象車両 全18両（100形車両・1000形一部車両を除く）
4. 安全対策
 - （1）「車内防犯カメラ」を設置
 - （2）「車内非常通話装置」を設置
 - （3）「車外放送スピーカー」を設置
 - （4）「車両側方カメラ」「乗務員室モニター」を設置
 - （5）「併結間転落防止放送装置」を設置
 - （6）「ホーム検知システム（超音波センサ）」を設置

※ 上記設備を順次、対象車両へ導入します。

安全のための装置の詳細については次ページをご覧ください

5. お問い合わせ 株式会社小田急箱根 鉄道部
TEL. 0465-32-6823（平日9:00～17:00）

以上

安全のための装置について

【車内防犯カメラ】



※ 車内で発生する迷惑行為や犯罪事象を抑止するほか、車内の状況把握を強化し、防犯性と安心感の向上を図ります。

【車内非常通話装置】



※ 現在、一部の車両には通話機能のない非常ボタンが設置されていますが、お客さまの安全・安心をより確保するため、順次、通話型の「車内非常通話装置」に更新いたします。異常時には、お客さまと乗務員が直接会話することで、迅速かつ的確な対応が可能となります。

【車外放送スピーカー】



※ 列車の到着・出発時に、ホーム上のお客さまへご案内、注意喚起などを行い、接触事故防止などの安全性向上を図ります。

【車両側方カメラ】【乗務員室モニター】



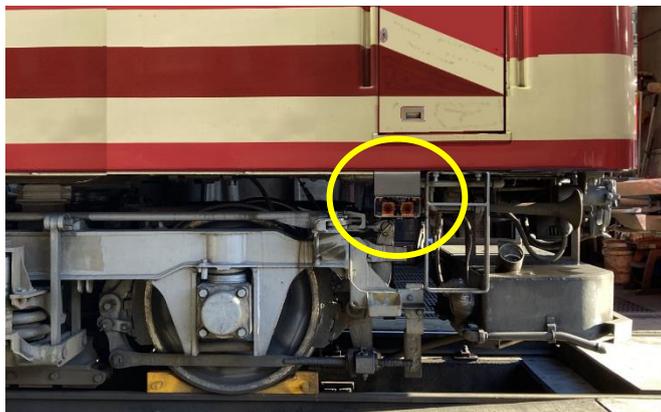
※ 夜間や悪天候などの低照度下でも十分な視認性を確保でき、明暗差がある環境下でも鮮明に映すことのできるカメラを車両側面に設置し、乗務員室のモニターにて確認します。乗降時の安全確認の精度向上を図ります。

【併結間転落防止放送装置】



※ 連結部における転落防止のため停車時に転落防止放送を行う装置を設置します。
【四言語により連結間の床下から注意喚起放送が流れます】

【ホーム検知システム（超音波センサ）】



※ ホームを検知してドア開扉が可能となる機能を導入します。ホーム側のみドア開扉が可能になります
※ ホーム以外ではドアは開きません。